



平成22年名張市農業委員会総会

- 平成22年事業計画**
- ①農地パトロールを実施し、遊休農地の発生防止とともに、解消指導や産業廃棄物の不法投棄を含む違反転用の防止に努めます。
 - ②優良農地の確保・有効利用を図るため、農地法などの法令業務の適正・的確な執行に努めます。
 - ③担い手の確保や育成の推進のため、地域の合意形成や農地の調整・あつせんに努めることも

平成22年 名張市農業委員会総会を開催

平成22年名張市農業委員会総会を7月20日に開催しました。平成21年事業報告の承認後、平成22年事業計画を審議し、事業計画を決議しました。内容は次のとおりです。

- ④地区住民からの聴き取りや集落の世話役活動を行うとともに、そこから得られた意見を基に建議や意見の公表を行います。
- ⑤農業委員自らが遊休農地の耕起や体験学習を行うなど、地域農業への市民の理解の促進を図ります。
- ⑥地域の食材・食文化への理解促進のため、食育や地産地消の推進に努めます。

魅力いっぱい農業者年金

- ◎終身年金で80歳までの保障付きです。加入者・受給者が80歳前に亡くなった場合でも、死亡一時金として遺族に支給されます。
- ◎農業の担い手となる人には、国から月額最高1万円の保険料補助があります。
- ◎国民年金第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の人はだれでも加入できます。
- ◎自分が積み立てた保険料とその運用実績により将来受け取る年金額が決まる積立方式(確定拠出型)の年金です。
- ◎自分で保険料の額を決められ、必要に応じて、いつでも見直すことができます。
- ◎支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税の節税につながります。

平成22年度秋季農作業賃金の協定基準

秋季農作業	稲刈	バインダー	10a当たり	10,000円
		コンバイン	10a当たり	21,000円
	ハーベスタ		10a当たり	10,000円
	乾燥	はさ掛け	60kg当たり	500円
		生脱(なまだつ)	60kg当たり	1,500円
	籾摺(もみすり)	60kg当たり	700円	

(注) 1. 稲刈の作業は、ほ場条件により決定する。
2. 稲刈は、ひも持ちとする。
3. もみ、玄米および作業機の輸送費を別途加算する。

※オペレーター賃金は時間当たり2,000円、補助作業賃金は一般作業に準じます。
※この賃金・料金は全て弁当持参 ※労働時間は、1日8時間
※上記金額には消費税は含まない。

農地パトロールを実施します

今年も、農業委員会では農地パトロールを実施します。雑草が繁茂した農地は病害虫や野生鳥獣のすみかとなり、近隣の農地や付近住民に迷惑をかけます。周辺環境に悪影響のある荒廃した農地の情報などを、地元農業委員または農業委員会事務局へご一報ください。

耕作放棄地への取組み

農業委員会は、東田原の耕作放棄地で、昨年12月に除草作業など再生作業を行いました。今年3月末にジャガイモの種付けを行い栽培管理を行ってきました。天候不順の影響もありましたが、適切な栽培管理を行ったことで、良いジャガイモの栽培ができました。



▲地元の小学生や地元住民を招待し、ジャガイモ収穫体験を実施しました。



▲収穫後、田を耕し、大豆をまきました。



▲学校給食に使用しました。

9月21日(火)~30日(日) 秋の全国交通安全運動を実施 ~高齢者の交通事故防止~ 園都市計画室 ☎63-7749

- 重点目標**
- ①夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止(特に、反射材用品などの着用の推進)
 - ②全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 - ③飲酒運転の根絶



9月23日(祝)「交通安全フェスタなばり2010」を開催(詳しくは、8ページ)

9月30日(日)は「交通事故死ゼロを目指す日」です

県内では、8月31日現在、昨年の同時期と比べ6人増となる71人の尊い命が失われました(うち市内で2人)。死亡事故の犠牲者は65歳以上の高齢者が半数以上を占めています。また、自転車や歩行者などの交通弱者が30人となっています。ハンドルを握る皆さんはもちろん、自転車や歩行者の皆さんを含めて、交通安全の推進に取り組んでください。